

田園自然再生事業

取り組みに至る背景・事業の目的

「ハッチョウトンボが最も棲みやすい環境」を整備し、世界最小のトンボであるハッチョウトンボ（体長 2cm）をはじめ多種類のトンボが生息する地域として観察を続ける。また、観察会を通じて新山地区の自然環境や会の活動をPRするとともに、自らの地域への関心や愛着を高める。

事業内容

- 「ハッチョウトンボが最も棲みやすい環境」整備
堆積土の除去及び湿地帯の整備により、生育環境に敏感なハッチョウトンボに配慮し、生育に適する環境の拡大を図る。
- 観察会の実施
小学生や保育園児に対する学習の場の提供を行う。
- トンボの楽園周辺への植栽の実施
小学生の記念植樹を実施し、地元への関心と愛着を高める。



【環境整備作業の様子】

事業効果

- 環境整備の結果、生育に適した環境（湿地）は 1.3ha から 2.5ha へと拡大した。
- トンボの楽園内で確認できるトンボの種類が 38 種類に増加した。
- 観察会への参加者の増加が見られるなど、関心の高まりを感じることができた。
- 記念植樹により、地元の小学生の愛着が芽生えてきた。



【ハッチョウトンボ】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- トンボの楽園を中心とした環境保全活動、観察会を中心とした交流を引き続き実施し、新山地区の環境の素晴らしさをPRする。
- トンボの楽園だけでなく、ザゼンソウやシュンランなどの在来植物の繁殖活動を進める。

【選定のポイント】

地域住民が、環境保全に対する高い意識をもちながら、ハッチョウトンボが棲みやすい環境を整備しており、平成 20 年度田園自然再生活動コンクールにおいて環境省自然局長賞を受賞している。また、小中学生などが、トンボを観察に訪れる際には、パンフレットを活用しながらわかりやすい説明を行っており、今後、さらに観察に訪れる人の増加が見込め、新山地区の自然の素晴らしさを発信している事業である。

団体名	新山山野草等保護育成会（伊那市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	伊那市新山土地改良区事務所内	事業費	342,531円
	電話 0265-78-8099	支援金額	253,000円